

ゴールデンウィークにおける家畜防疫対策の強化について

～豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫、 高病原性鳥インフルエンザの侵入・まん延防止の徹底を～

国内および近隣諸国で、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜の伝染性疾病の発生が継続して確認されています。

高病原性鳥インフルエンザは、4月以降農場で発生、野鳥からもウイルスが検出されており、まだまだ発生リスクが高い状況です。

家畜伝染病の侵入・まん延防止のため、以下の対策について継続いただきますようお願いいたします！

◆ 引き続きご注意いただきたいこと ◆

- 家畜の伝染性疾病発生地域への渡航は可能な限り自粛。外国人従業員の方や留学生につきましても、御理解の上、御協力ください。
※ やむを得ず渡航する場合は、現地で農場等畜産施設には立ち寄らず、肉類の持ち帰りはお控えください。また、帰国後1週間は衛生管理区域に立ち入らないでください。海外で使用した衣類や靴の衛生管理区域への持ち込みも厳禁です！
- 衛生管理区域や畜舎への関係者以外立入禁止。不要物品の持込み禁止。
- 防護柵や防鳥ネットの設置による野生動物侵入対策と破損箇所の修繕。
- 農場周辺や農場、畜舎に立ち入る際の徹底消毒！
(畜舎に入る際の作業服や長靴・手袋の交換、手指消毒の励行をお願いします)
- 毎日の健康観察と異常発見時の早期通報。特に特定症状(裏面)は要注意。

近隣をはじめとする海外での発生状況

【アフリカ豚熱】 中国、韓国、香港、シンガポールなどアジア全域で発生

*** 韓国では今年の3月16日にも発生！野生いのししは継続的に発生！**

【口蹄疫】 中国、韓国、カンボジア、モンゴルなどアジア全域で発生

*** 韓国では今年の2月に発生！**

【高病原性鳥インフルエンザ】

*** 4月以降も日本を含めた全世界で発生中！**

【豚熱】 **兵庫県丹波篠山市の野生いのししから豚熱ウイルス確認**(4/3～12、6頭捕獲)

各疾病の特定症状

■ 豚熱・アフリカ豚熱(豚)

- 耳、下腹部、足等の紫斑(チアノーゼ)
- 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- 結膜炎、目やに
- けいれん、後ろ足の麻痺
- 皮下出血、血便



赤紫の耳(紫斑)



結膜炎(目やに、充血)

■ 口蹄疫(牛、豚、山羊、羊、鹿)

- 39℃以上の発熱
- 泡状のよだれ
- 口、ひづめ、乳房の水ぶくれ
- 泌乳量の大幅な低下
- 同一畜舎で、複数の家畜の口などに水ぶくれ



泡状のよだれ



水ぶくれがやぶれて、皮がむけたひづめ

■ 高病原性鳥インフルエンザ(家きん)

- 同一の家きん舎内での1日の死亡率が、平均的な死亡率の2倍以上

その他、急死、とさかの出血・壊死や顔面浮腫が特徴的な症状とされる。



急死した鶏